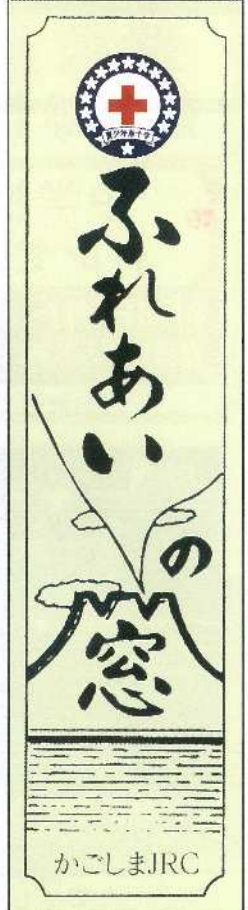




小学校夏季トレセン



発行所
鹿児島県青少年赤十字
指導者協議会

事務局
日本赤十字社鹿児島県支部
鹿児島市鴨池新町1番5号
電話(代表)099-252-0600

「気づき、考え、実行する」
子どもの育成
青少年赤十字指導者協議会
会長 六 笠 登 由



霧島自然ふれあいセンターで開かれるトレセンに向かう車中、

広島の平和記念式典で初めてとなる子ども代表の平和の誓いを聞きました。

- 平和とは、自然に笑顔になれること
- 平和とは、人も自然も幸せであること
- 平和とは、夢や希望をもてる未来があること

何と立派なスピーチ、何と素晴らしい子どもたちと感激するとともに、これこそ青少年赤十字活動のねらいである世界の平和と人道の実現につながる考え方であると感じました。

会場に着くと、この日は凛々しい中学生二十四人の姿がありました。はじめは、自分のことで精一杯の子どもたちではないだろうかと思いを周りをしながら、「気づき、考え、

青少年赤十字

実践目標
健康・安全・奉仕・国際理解・親善

態度目標
気づき、考え、実行する

実行する」生徒へと大きく変容する姿を目の当たりにして、手前みそながらこのトレセンの意義を感じています。

今年度から、より多くの子どもたちが参加しやすいように大隅半島からの送迎バスも用意しています。今後も、赤十字の精神をもった子どもを育成できるよう様々な事業を実施してまいりますので、御協力の程よろしくお願いいたします。

国際理解・親善

青少年赤十字賛助奉仕員
委員長 室屋 勝男



この度の研修は、実践目標「国際理解・親善」を強く意識する機会となった。九州ブロック青少年赤十字賛助奉仕員研修交流会は、別府市が会場で、研修②は、立命館アジア太平洋大学(APU)留学生との交流だった。学生数六千人で留学生三千人と、正に国際親善が体験できる環境だった。研修内容は、各国留学生が興

味を持つている日本文化を説明し、最後は自国の特徴ある文化を紹介する流れになっていた。ベトナム、インドネシア、スリランカ、中国、ウズベキスタンの留学生は、学び始めた日本語を精一杯使い、懸命に伝えてくれ、その誠実に胸が熱くなった。各国とも英語は流暢に話し、団員の通訳者と豊かな会話がとれていた。最も拍手を浴びたのは、ウズベキスタン男性留学生の日本語で「就職は、自動車会社のスバルに決めている。」だった。また、どの留学生も日本人はとても親切で、思いやりがあるという言葉を伝えてくれた。

東京オリンピック、大阪万博が開催され、今後一層グローバル化が進む世界を考えると、この「国際理解・親善」は、どのようなことに「気づき、考え、実行する」へと、つながって行くのだろうかと思いをめぐらした。私たち賛助奉仕員は、大分大会の研修を踏まえ、指導者協議会の活動計画に、協力・支援できるように努力を重ねていきたい。

第6ブロック青少年赤十字海外派遣事業

●派遣国 ベトナム社会主義共和国
 ●期間 平成30年8月17日(金)～23日(木) 6泊7日
 ●参加者 29名(九州各県)
 本県参加者 7名
 桑鶴 海良(県立指宿高等学校) 森崎 百萌(県立甲南高等学校)
 大庭 洋行(指導者、鹿児島情報高等学校)
 松田 典久(団長、鹿児島県支部事務局長) 矢野 宏一(事務局、支部事業推進課長)
 隅野 翼(事務局、支部事業推進課主事) 田之畑有紀(鹿児島赤十字病院 看護師)
 主な活動 TOTOベトナム工場見学、ベトナム赤十字本社表敬訪問、ベトナムRCYメンバーとの交流、マングローブ植樹体験、孤児院訪問、世界遺産ハロン湾視察 など



「ベトナム研修を終えて」 鹿児島県立甲南高等学校 森崎 百萌

今回のベトナム研修が私にとって初めての海外渡航でしたので、当初、現地の人と会話ができるか、事故や犯罪に巻き込まれないかなど、様々な不安がありました。しかしながら、実際に参加してみると「日本」に住んでいるだけでは絶対に見つけれない、世界の裏側に迫ることができました。その研修の中で一番衝撃的だったのは、孤児院を訪問した際に、現地の職員

の方から「この施設には人身売買され、保護された子ども、親がいない子ども、戦争の際に撒かれた枯葉剤によって、今もその障がい苦しんでいる子どもがいる。」というお話を聞いたことです。世界には私の知らないところで苦しんでいる人たちが数多くいることを痛感したと同時に、これからは世界規模で物事を考え不平等な扱いを受けている人々を救っていきたいと思いました。



「ベトナム研修で感じたこと」 鹿児島県立指宿高等学校 桑鶴 海良

今回のベトナム研修では、様々な方面から刺激を受けることができ、自分自身の感性を豊かにする事ができたと思います。特に、ベトナムの赤十字本社を訪問した際に聞いたマングローブ樹木を作る活動の話が印象深かったです。この活動は、日本の赤十字が積極的に行っ

ており、ベトナムの水害を防ぐのに役立っているそうです。このことから、日本と海外の国との関係を初めて身近に感じることができ国際支援の重要性を改めて認識することができました。この体験から国際支援活動に携わりたいという思いが強くなり、多くの人の助けになりたいと思いました。

平成30年度 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター、指導者講習会等

中学校トレセン 8月6日(月)～8日(水) 霧島自然ふれあいセンター	小学校トレセン 8月9日(木)～11日(土) 霧島自然ふれあいセンター	高等学校トレセン 8月9日(木)～11日(土) 霧島自然ふれあいセンター	指導者(担当者)養成講習会 8月16日(木)～17日(金) 霧島自然ふれあいセンター
---	--	---	---



小学校トレセン
 今年も、いろいろな学校からリーダーを目指す子どもたちが集まり、災害が起きた時に自分にどんなことができるか具体的に考え、子どもたち同士で真剣に話し合っていました。一家に帰って、避難場所を家族と確認したい。二救急法を友だちに教えたい。そんな声が聞こえると今年も素晴らしい三日間だったとスタッフ全員が思います。
 豪雨、台風、地震などを見聞きするたびに、ここの学びを生かしてほしいと強く願っています。

小学校トレセン
 ■主な内容
 赤十字と青少年赤十字について、防災プログラム、健康安全プログラム、野外活動、ワークショップ、V.S.について
 ■参加校名(順不同)
 清水、舞北、福平、光河、今和泉、武水、北、神村学園、西原



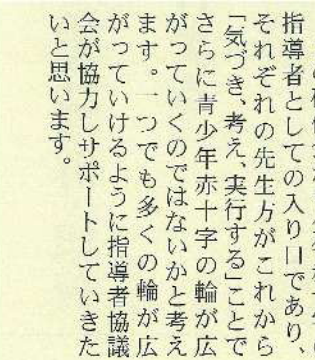
中学校トレセン
 今年度も、多くの学校から生徒役員を中心に集まり、充実したトレセンを行うことができました。限られた時間での研修でしたが、日を追うごとに緊張がほぐれ、すべてのプログラムに真剣に取り組む姿を見ることができました。中でも、V.S.活動に対して例年以上に積極的に取り組む姿があり、たった三日間で大きな成長を見せてくれる子どもたちには、毎年驚かされます。
 参加してくれた生徒たちが、今回のトレセンで学んだことを生かし、学校や地域など様々な場面で活躍してくれることを願っています。

中学校トレセン
 ■主な内容
 赤十字と青少年赤十字について、防災プログラム、健康安全プログラム、野外活動、ワークショップ、V.S.について
 ■参加校名(順不同)
 吉野、甲東、伊敷、谷山、山水、第一、佐多、宮之城、細山、国分、福平、清辺、財部



高等学校トレセン
 今年度も、多くの学校から生徒役員を中心に集まり、充実したトレセンを行うことができました。限られた時間での研修でしたが、日を追うごとに緊張がほぐれ、すべてのプログラムに真剣に取り組む姿を見ることができました。中でも、V.S.活動に対して例年以上に積極的に取り組む姿があり、たった三日間で大きな成長を見せてくれる子どもたちには、毎年驚かされます。
 参加してくれた生徒たちが、今回のトレセンで学んだことを生かし、学校や地域など様々な場面で活躍してくれることを願っています。

高等学校トレセン
 ■主な内容
 赤十字と青少年赤十字について、防災プログラム、健康安全プログラム、野外活動、ワークショップ、V.S.について
 ■参加校名(順不同)
 鹿屋、鹿屋水産、鹿児島工業、鹿屋工業、鹿屋女子、甲南、鳳凰、鹿児島情報



指導者講習会
 今年もフレッシュな風が吹きました。今回もスタッフ・参加者の皆さんの協力もあり実りの多い充実した二日間にする事ができました。
 二日目のワークショップで研修のまとめとして、本講習会で学んだことを取り入れそれぞれの関・学校でできることを活動計画案としてまとめることができました。
 この研修会が青少年赤十字の指導者としての入り口であり、それぞれの先生方がこれから「気づき、考え、実行すること」さらに青少年赤十字の輪が広がっていくのではないかと考えます。一つでも多くの輪が広がっていくように指導者協議会が協力しサポートしていきます。

指導者(担当者)養成講習会
 ■主な内容
 赤十字と青少年赤十字について、防災プログラム、野外活動、交流会、健康安全プログラム、ワークショップ、活動計画作成、情報交換等
 ■参加校名(順不同)
 鹿児島情報、鹿児島工業、鹿児島女子、鹿児島情報、鹿児島女子、鹿児島女子、鹿児島女子、鹿児島女子

一日リーダーシップ・トレーニング・センター

小学校

期日：平成31年1月26日(土)
 内容：非常食炊き出し実習、グループワーク(いえまですごろく)、赤十字と青少年赤十字、ワークショップ等
 参加校：水之上、福平、名山、山下、坂元、(順不同)皇徳寺、頼娃、谷山、武、大龍、阿久根



中学校

期日：平成31年1月19日(土)
 内容：非常食炊き出し実習、グループワーク(いえまですごろく) 青少年赤十字と生徒会活動、私たちの生徒会(ボランティア)活動、ワークショップ等
 参加校：甲東、伊敷、吉野、武、福平、溝(順不同)辺、川辺、垂水中央、米ノ津、出水、宮之城、南



高等学校

期日：平成31年2月10日(日)
 内容：非常食炊き出し実習、春季総会、健康安全プログラム等
 参加校：鹿児島情報高校、鹿児島女子(順不同)高校、甲南高校、鹿児島高校、指宿高校、鹿児島水産高校



加盟校(園)数(3月1日現在)

保育園(33) 幼稚園(37)
 小学校(301) 中学校(130)
 高等学校(23) 特別支援学校(4)
 計 528校(園)

★平成30年度新規加盟校(園)★

【幼稚園】武、獅子島(2園)

【小学校】大龍、手蓑、九玉、通山、
 尾野見、国見、大原(7校)

【中学校】宮之城、財部、伊子茂(3校)

【特別支援学校】指宿養護学校(1校)

以上 計13校(園)

NHK海外たすけあい 募金活動

12月1日(土)から25日(火)まで「NHK海外たすけあい」キャンペーンが実施されました。

「NHK海外たすけあい」は、世界各地で起こる災害や紛争、飢餓や病気などで苦しんでいる人々を救うために、NHKと日本赤十字社が共同で実施しているものです。

青少年赤十字のメンバーは、日赤鹿児島県支部が県内7会場(鹿児島市(3会場)、南さつま市、薩摩川内市、始良市、鹿屋市)で実施した街頭キャンペーンに、青少年赤十字賛助奉仕団と赤十字地域奉仕団などと街頭募金の呼びかけを行いました。

延べ233名で街頭に立った今年は、総額457,868円でした。

ご協力有難うございました。

